

- 問1 聖徳太子らが603年に定めた「冠位十二階」という制度の目的を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- 家柄や氏族の勢力に関わらず、個人の才能や功績に応じて優秀な人材を役人に採用すること
 - 天皇の権力を制限するために、有力な豪族たちが話し合いで政治を行う仕組みを作ること
 - 自ら新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に私有することを認めること
 - 仏教を国家の教えとして広めるため、各地に国分寺や国分尼寺を建立すること
- 問2 7世紀半ばの朝鮮半島は、北部の高句麗、東部の新羅、南西部の百済が対立していました。白村江の戦いにおいて、日本が支援した国と、日本が戦った連合軍の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
- 支援した国：新羅、連合軍：唐・百済
 - 支援した国：百済、連合軍：唐・新羅
 - 支援した国：高句麗、連合軍：隋・新羅
 - 支援した国：百済、連合軍：高句麗・新羅
- 問3 西暦による歴史の時代区分において、西暦601年から西暦700年までの100年間を指す名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- 7世紀
 - 6世紀
 - 8世紀
 - 5世紀
- 問4 701年に大宝律令が制定された際、政治の中心地として機能していた都について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、この都は現在の奈良県橿原市付近に位置しており、日本で初めての本格的な都城（街並みが整備された都）として知られています。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- 桓武天皇によって遷都され、平安時代を通じて政治の中心となった平安京
 - 孝徳天皇によって難波の地に置かれ、大化の改新の舞台となった難波京
 - 中国の都にならって整備された日本初の本格的な都城である藤原京
 - 聖武天皇の時代に国際色豊かな文化が栄えた平城京
- 問5 現在の福岡県太宰府市周辺には、土を高く盛って作られた巨大な壁と、その外側に水を蓄えた堀の遺構が残っています。この施設が築かれた歴史的背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
- 百済を救うために送った軍隊が白村江の戦いで敗れ、唐や新羅が日本へ攻めてくることを防ぐために築かれた。
 - 豊臣秀吉が朝鮮半島への出兵（文禄・慶長の役）を行う際、九州北部の拠点を防衛するために築かれた。
 - 卑弥呼が治める邪馬台国の集落を、周囲の敵対する勢力から守るために深い溝と柵が作られた。
 - モンゴル帝国（元）の軍隊が九州へ上陸するのを阻止するため、博多湾の沿岸に沿って石造りの壁が築かれた。
- 問6 大化の改新から始まる律令国家の形成過程において、天智天皇の死後の後継者争いに勝利した天武天皇が、その後の政治で目指したこととして最も適切な説明はどれか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- 武士の協力を得て、朝廷の警備を強化し、新しい幕府を開くこと。
 - 天皇の権威を強め、法に基づき全国を直接統治する中央集権体制を確立すること。
 - 遣唐使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を広めること。
 - 仏教の力を借りて、地方の豪族に土地の私有を認めること。
- 問7 7世紀の日本は、朝鮮半島から移住した渡来人を通じて仏教や最新の技術を受け入れるとともに、大陸の制度を学ぶなど国家の仕組みを整えていました。こうした時代のなか、天智天皇の死後にその跡継ぎをめぐって大海人皇子と大友皇子が争った、古代日本で最大規模とされる内乱を答えなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- 保元の乱
 - 平将門の乱
 - 壬申の乱
 - 承久の乱
- 問8 日本の歴史における時代区分と出来事の前後関係について説明した文として、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- 飛鳥時代にフビライ・ハンが来られ、その後、室町時代に平清盛が太政大臣に就任した。
 - 平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進し、その後、鎌倉時代にフビライ・ハン率いる元が日本へ押し寄せた。
 - 奈良時代に豊臣秀吉が太閤検地を行い、その後、安土桃山時代に平清盛が政権を握った。
 - 鎌倉時代に平清盛が幕府を開き、その後、安土桃山時代にフビライ・ハンによる元寇が起こった。
- 問9 7世紀の日本が遣隋使の派遣や大化の改新を経て、急速に律令制度を導入し、中央集権体制を確立しようとした背景について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- 建武の新政において、公家と武士の双方を納得させるための新しい裁判基準を定める必要があったため。
 - 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことで、対外的な脅威に対抗できる強力な国家体制を築く必要があったため。
 - 元の襲来（元寇）を受けた経験から、九州沿岸の警備を強化するために中央から地方へ命令を伝える仕組みを整えたため。
 - 承久の乱によって朝廷の権威が失墜したため、天皇の力を再び強めるための新しい法律が必要になったため。
- 問10 飛鳥時代に聖徳太子（厩戸王）によって建立されたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物群を持つ、奈良県に位置する寺院はどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- 興福寺
 - 法隆寺
 - 東大寺
 - 延暦寺
- 問11 飛鳥時代、推古天皇の摂政として政治を行い、国をまとめるために仏教を厚く敬うよう説いた人物は誰ですか。現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺を建立したことで知られる人物を選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- 足利尊氏
 - 聖徳太子
 - 藤原道長
 - 中臣鎌足
- 問12 新羅が唐と結び朝鮮半島の統一を進める過程で、日本（倭国）は百済を救援するために軍を派遣しましたが、唐・新羅の連合軍に大敗しました。この戦いの名称と、その後の日本がとった対応に関する説明として、正しい組み合わせを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- 文永の役で敗れ、全国の武士に動員令をかけて博多湾に石築地を築いた
 - 白村江の戦いで敗れ、唐や新羅の侵攻に備えて九州に防人や水城を置いた
 - 湊川の戦いで敗れ、朝鮮半島との交易を一切禁止して鎖国体制を整えた
 - 白村江の戦いで敗れ、隋に使者を送るのをやめて大陸との交流を断絶した
- 問13 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、倭国（日本）の政権は、大陸からの侵攻を非常に強く警戒するようになりました。そのための防衛対策として、九州地方を中心に実施された内容として正しいものはどれですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- 東北地方の蝦夷（えみし）を制圧するために、多賀城を築き鎮守府を置いた
 - 大宰府の北側に水城（みづき）を築き、沿岸部に防人（さきもり）を配置した
 - 元軍の再来に備えて、博多湾の沿岸に石築地（元寇防壁）を築いた
 - 白河上皇が北面の武士を組織し、御所の警備と寺社の強訴を防いだ